

2020年5月11日

不当な日本批判を正す学者の会 (AACGCJ) 会長 田中英道

## 【プレスリリース】

### 学者の声明：映画『主戦場』に係る上智大学の研究倫理を問う

(敬称略)

- ・本日、55名の学者の声明文（全7ページ）を公表・・・この通信に添付
- 上智大学大学院の卒業制作に協力したつもりが、無断で商業映画に利用された保守系論者
- ・出崎幹根（デザキ・ミキネ）が制作・監督した映画『主戦場』の被害者8名  
＝加瀬英明、ケント・ギルバート、櫻井よしこ、藤岡信勝、藤木俊一、アンソニー・マラーノ、山本優美子、杉田水脈（すぎた・みお）
- ・2016年5月から2017年2月にかけて、当時、上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科の大学院生だった日系米国人の出崎幹根は、卒業制作のための学術研究を装って、上記被害者8名に対して、慰安婦問題に関し、インタビューを実施
- ・しかし、無断で、2018年10月の釜山国際映画祭を皮切りに、商業映画館を含め、日米欧で次々に上映

#### 極めてアンフェアかつ偏向した作りの映画

- ・出崎は、『主戦場』は、両サイドの意見を公平に扱ったドキュメンタリー映画であると謳っているが、実際には、「慰安婦＝性奴隷、強制連行」肯定説に極端に偏った作り
- ・「慰安婦＝性奴隷、強制連行」否定説の8名の保守系論者の発言は、意図的に短く切り取られ、観客に悪い印象を与えるような編集になっている
- ・保守系論者の発言が短く紹介された後に、「慰安婦＝性奴隷、強制連行」肯定説の論者が長々と反論する形になっている。つまり、保守系論者には反論の機会は与えられていないが、他方、「慰安婦＝性奴隷、強制連行」肯定論者には、十分な反論の機会。
- ・また、そもそも、人数的にも、保守系論者8名に対し、「慰安婦＝性奴隷、強制連行」肯定説の論者は19名と、極めてアンバランス
- ・公平なドキュメンタリー映画とは、到底言えない

#### 被害者たる保守系論者による法的措置（すでに3件の訴訟）

- ・『主戦場』の上映差し止めと損害賠償を求める民事訴訟、2019年6月
- ・著作権侵害罪で刑事訴訟、2019年10月
- ・二項詐欺（詐欺利得罪）で刑事訴訟、2020年4月

#### 上智大学の研究倫理ガイドライン違反

- ・上智大学は、立派な「学術研究倫理ガイドライン」（2010年1月）を持っている  
；「(人を対象とする研究)に関するガイドライン」（2010年4月）  
－「人を対象とする研究に関する事前チェック・シートの24項目」
- ・24項目のうち1項目でも該当するものがあれば、学内の倫理委員会の事前審査の対象

- ・ 出崎の 8 名の保守系論者に対するインタビューは、明らかに人を対象とする研究  
 ; 保守系論者は、24 項目のうち 9 項目が該当すると主張
  - ➡ しかるに、出崎の研究は、学内の倫理委員会の事前審査の対象となっていない  
 ; これは、出崎の当時の指導教員だった中野晃一教授と出崎の責任
- ・ さらに、上智大学の「人を対象とする研究」に関する倫理委員会は、「インフォームド・コンセント（説明事項）チェック・シート」を持っている  
 ; それによれば、「研究への参加は任意であり、参加に同意した場合であっても、随時これを撤回できる」となっている
  - ー 被害者たちは、2019 年 10 月、中野教授に対して、研究参加同意撤回書を送付
    - ・・・参加同意の撤回とともに、インタビュー原画の引き渡しと廃棄を求めた
      - ➡ 上智大学側は、今なお、これに一切応じていない
  - ; 出崎の意図で映画を作成すれば、インタビューに応じた彼の研究協力者である保守系論者との間で利益相反が発生することは明白だったはず
    - ➡ しかし、出崎は、保守系論者に対して、事前にインフォームド・コンセントを求めなかった（情報の提供も、同意を取り付けることもしなかった）
  - ; 「インフォームド・コンセント・チェック・シート」をしっかりと遵守するとすれば、『主戦場』の上映は差し止められて然るべき
    - ➡ しかし、いまなお、野放図に上映可能な状態
- ・ 元・大学院生の出崎と指導教員の中野教授は、上智大学の研究倫理規定に完全に違反  
 ; 詐欺的行為によって、インタビュー映像を撮影し、それを極めてアンフェアに編集  
 ; なおかつ、無断で商業映画に仕立て上げ、大々的に、映画館や大学等で世界中に拡散してきた  
 ; 今日に至るまで、保守系論者の名誉を著しく棄損する行為が継続  
 ; しかも、日本の国と国民を、国際的に貶める状態が継続しており、われわれ 55 名の学者としては、座視できない

#### 上智大学は研究倫理不正事案に厳正に対処せよ

- ・ 2019 年 9 月、保守系論者が、中野晃一教授と出崎幹根を上智大学へ告発
  - ➡ 2019 年 12 月 18 日、上智大学が、調査委員会を発足（6 カ月以内に結論の予定）
- ・ 今回のような極めて深刻な研究倫理規定違反を放置したとすれば、
  - ; 上智大学の社会的信用の失墜のみならず、我が国の学術共同体全体の信用失墜
  - ; 学内の調査委員会には、厳正な対応が求められる
  - ; 文科省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（2015 年 4 月）の趣旨にも抵触する事案

問い合わせ先：不当な日本批判を正す学者の会 理事・事務局長＝山下英次

<https://aacgcj.org/> 〒105-0003 港区西新橋 2-13-14 TEL: 03-3519-4366